

福祉だより

上豊富地区
福祉推進協議会
R元年7月発行

ごあいさつ

上豊富地区福祉推進協議会会長

大槻 正喜

常日頃より、上豊富地区福祉推進協議会活動にご理解とご協力を頂いておりますことに、厚く御礼申し上げます。

少子高齢化の顕著な当上豊富地域にあつて、なかなか明るい話題のない昨今ですが、かといってそのことを憂い、嘆き、悲観するばかりでは、何にもならない事に多くの方々も意識されていることと思います。

なによりも、現在、上豊富地域で夫々の立場でご活躍されていらっしゃる多くの方々が色々な場面で、出来る人が、出来る時に、出来る事をしていく事ではないでしょうか。

当地域にあつても、年代、性別、有職・無職等々を問わず、多岐に渡る方々の各種活動・行事等への能動的な参画がこれから益々必要となり、ひいてはそれらが人々同志の繋がりが、関わり合い、絆となり地域の活発化となっていくのではないのでしょうか。是非、お

一人お一人が他人事、他山の石と傍観者となられる事なく、多数の方々の各種活動・行事等への積極的な参画等ご協力を賜りますように宜しくお願い致します。

最後に、日頃から地域における福祉活動に日々ご尽力頂いております、民生児童委員、主任児童委員の皆様方に感謝を申し上げますとともに、本会の活動に地域住民の方々のご協力とご支援を賜りますよう宜しくお願い申し上げます。



上豊富地区のみなさまへ

成和地域包括支援センター

牛尾 陽子

毎日暑い日が続いていますが、皆様いかがお過ごしでしょうか。この時期気をつけたいのが熱中症です。熱中症は家の中に居てもかかると言われていきます。熱中症予防には水分補給が大事であり、こまめに少しずつ水分を摂ることがポイントです。これから夏本番となりますので、十分注意していただき、暑い夏を乗り切りましょう。

さて、私達は成和地域包括支援センターの職員です。平成三十一年三月までサンヒルズ紫豊館さんに業務委託をしていましたが、こ

の度福知山市の直営となり四月から成和地域公民館の中に開設しています。包括支援センターでは、皆様方から『こんな相談をしてもいいのか?』『どこに相談したらいいのか分からない。』といった主に高齢者の方にかかわる悩みや相談ごとを聞かせていただき、必要な機関やサービスにつなげる橋渡しをさせていただきます。相談先が変わり、皆様にはご不便をおかけしますが、介護、保健、福祉の相談窓口として、皆様のお役に立てるよう精一杯がんばりますのでよろしくお願い致します。

また、地域支援コーディネーターも配置しています。皆様の地域サロンや地域行事に参加させていただき、皆様と顔の見える関係を築いていきたいと思っていますので、気軽にお声かけください。

(073-453906)

介護支援専門員

尾関 善丈

保健師

牛尾 陽子

主任介護支援専門員

多田 千里

地域支援

コーディネーター

佐々木 和美



「上豊富地区福祉協議会」

第二十八回総会」報告

事務局長 民生児童委員

足立 学



去る五月二十三日(木) 大槻正喜会長以下、新本部役員、新委員の方々の出席のもと、令和元年度第二十八回総会を開催しました。

三十年度の事業報告、決算報告、又令和元年度の事業計画案、予算案等の審議の結果、全てご承認いただきました事ご報告致します。時局の講座として

①福知山市高齢者福祉課 地域包括支援係

荒賀係長

成和地域包括支援センター 牛尾氏

「成和地域包括支援センター

新体制について」

②福知山市

社会福祉協議会

地域福祉課

宮本課長・加藤氏

「本年度事業について」

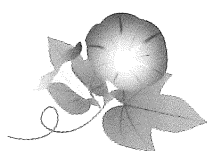
以上二項目についての説明を聞きました。



次に、上豊富地区の高齢化について報告致します。十四歳以下の人数は前年度に比べ、十九名の減となっています。上豊富小学校の全校児童数は、九十九名となりました。高齢化の比率は、茅ノ台を除く十二地区で43・17%となり昨年と比較すると1・03ポイントの増となっています。こうした社会現象のなかにあつて私達委員は、地域の皆様との交流や、絆を深めお互いが安心して生活できる地域づくりを進める事が大切な役割であると思っています。

本年度も昨年同様に事業を進めていきます。委員一丸となつて取り組みますので、今後とも地域の皆様方のご協力ご支援を賜りますようお願い致します。

福祉について



民生児童委員 森 秀夫

上豊富地区福祉推進協議会は、自治会長運営協議会長、自治会長、公民館長・同副館長・同主事、老人クラブ連合会長・同副会長、消防分団長、小学校PTA会長、中学校PTA代表、小中学校校長、保育園長、保育園理事長、子ども会連絡協議会長、福祉施設代表、榎原駐在所、ボランティアの代表(いずみ会、食

生活改善推進員)、学識経験者、民生児童委員によって構成されています。現在の関係会員数は四十名を超えています。そうした中で活動内容は、昨年度五月役員会、総会、講座研修(介護予防 日常生活支援総合事業について)が行われました。

七月は役員会(福祉施設研修打ち合わせと下半期事業の打ち合わせ)八月施設研修(宮津市内・みねやま福祉会 マ・ルート)十月は拡大役員会(ふれあい餅つき大会打合せ)十一月ふれあい餅つき大会(ぜんざい等一般参加者に提供)と続きます。

一月はふれあい給食(一人暮らし高齢者・寝たきり高齢者宅へ弁当配給、サンヒルズ紫豊館・いずみ会・食生活改善推進員にご協力を願う)二月はあったか訪問(一人暮らし高齢者・寝たきり高齢者等への使い捨てカイロの配布)を行ってきました。又、年間を通じて見守り事業として、児童の交通安全の見守り実施、あいさつ運動、各地区サロン事業の応援もしております。また、年3回「福祉だより」を発行しています。

概要は以上ですが、上豊富地区の福祉は毎年寄りから子供まで本当に良く理解されており協力体制がスムーズに行われています。このいい伝統を先々まで繋いでいきたいものです。